

1 平成23年度決算（自平成23年4月1日 至平成24年3月31日）

(1) 貸借対照表（平成24年3月31日現在）（単位 円）

資 産 の 部			負 債 の 部		
区分	科 目	金 額	区分	科 目	金 額
流 動 資 産	1 現金・預金	60,900,168	流 動 負 債	1 1年以内返済 の長期借入金	319,740,000
	2 売掛金	9,211,309		2 リース債務	3,667,920
	3 投資有価証券	34,056,424		3 未払金	14,234,989
	4 棚卸資産	601,753		4 未払費用	2,541,296
	5 前払費用	430,360		5 前受金	3,386,110
	6 未収収益	81,951		6 預り金	264,749
	7 未収入金	410,663		7 未払法人税等	38,378,200
				8 未払消費税等	5,236,400
		9 賞与引当金	1,061,256		
	計	105,692,628		計	388,510,920
固 定 資 産	1 建 物	1,505,557,415	固 定 負 債	1 リース債務	12,753,020
	2 建物附属設備	333,974,846		2 長期借入金	374,405,000
	3 構 築 物	30,617,648		3 退職給付引当金	1,494,150
	4 工具器具備品	80,681,350		計	388,652,170
	5 電話加入権	72,800	負債合計		777,163,090
	6 リース資産	16,420,940	純 資 産 の 部		
		区分	科 目	金 額	
		株 主 資 本	1 資 本 金	1,030,000,000	
			2 繰越利益剰余金	265,854,537	
			計	1,295,854,537	
	計	1,967,324,999	純資産合計		1,295,854,537
資産合計		2,073,017,627	負債・純資産合計		2,073,017,627

(2) 損益計算書 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)

(単位 円)

科 目	金 額	
売 上 高		583,772,692
売 上 原 価		3,021
売 上 総 利 益		583,769,671
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		431,653,962
営 業 利 益		152,115,709
営 業 外 収 益		3,895,977
受 取 利 息	231,173	
雑 収 入	3,664,804	
営 業 外 費 用		19,045,212
長 期 借 入 金 利 息	19,045,212	
経 常 利 益		136,966,474
特 別 損 失		175,801
固 定 資 産 除 却 損	175,801	
税 引 前 当 期 純 利 益		136,790,673
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		59,933,650
当 期 純 利 益		76,857,023

2 平成23年度事業報告

当社は、富山市から指定管理者の指定を受けている「富山国際会議場の管理運営」と、固有の事業である「駐車場の運営」を二本の柱として事業を展開してきた。

事業の遂行にあたっては、国際会議場施設及び駐車場施設が一体的・効率的に機能するよう種々の措置を講じるとともに、コンベンション誘致等の営業活動をはじめ利用のコーディネート等に努めた結果、富山国際会議場は広く周知されるようになり、学会、講演会、諸会議、展示会等の幅広い催事で利用された。

国際会議場施設の今期の利用率については、利用用途の高い多目的会議室が79.4%、メインホールが53.9%、その他が65.3%、全体では70.3%であった。

当社所有の駐車場については、今期は101,164台の利用があり、会議場利用者はもとよりANAクラウンプラザホテル富山の利用者等に広く利用された。

アートサロンについては、藤田喬平氏のガラス作品等を展示し、格調の高いスペースとして富山市の新産業であるガラス製品の魅力の紹介に努めた結果、今期は11,457人の利用があった。

また、軽食喫茶「カフェ・ドゥ・ミュゼ」については、情報発信、くつろぎの場、「セントラム」の待合いコーナー等の提供とともに、催事者のニーズに応え、ケータリングも積極的に行うなど集客力の向上に取り組んできた結果、50,721人の利用があり、売上収入額は22,649千円となった。